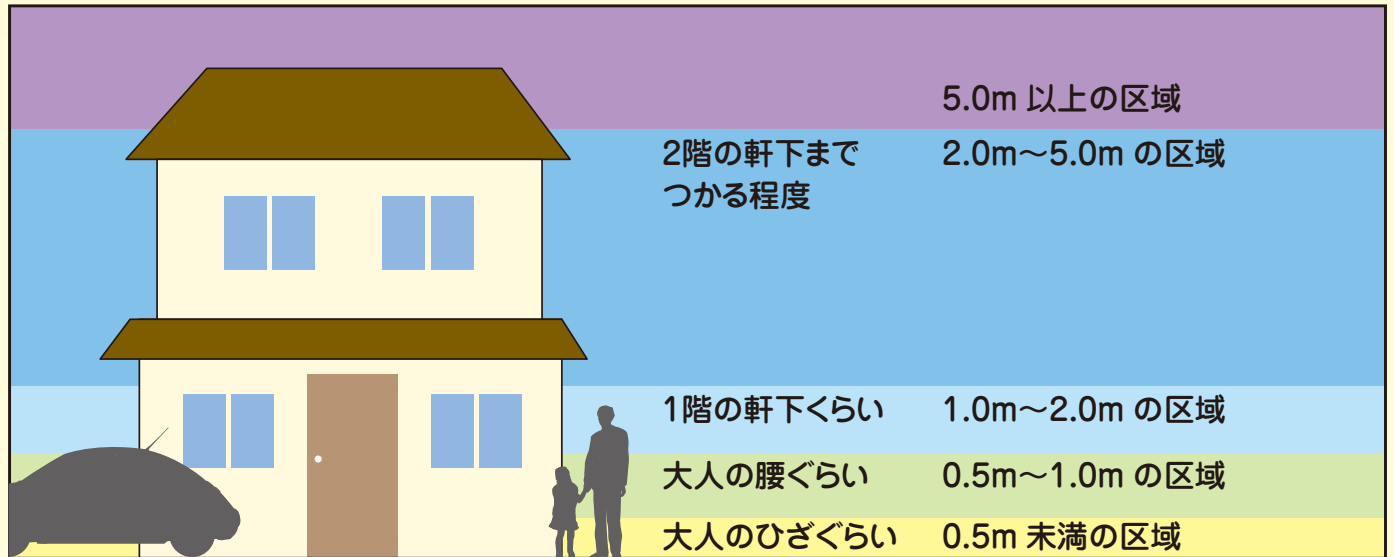


# 洪水ハザードマップの見方

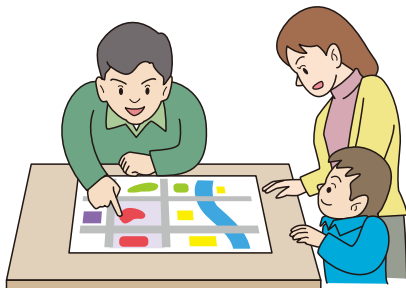
## 浸水した場合に想定される水深の色の見方



●マップに示した浸水想定区域以外のところでも、雨の降り方や土地利用形態の変化などにより浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

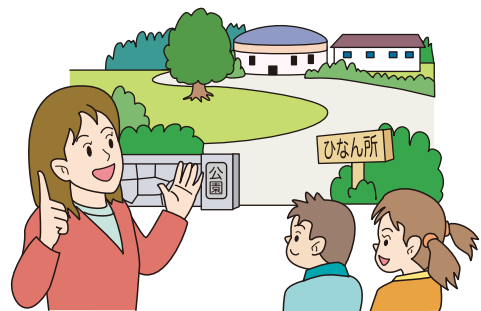
# 洪水ハザードマップの使い方

## ステップ 1 まず、自宅の位置を確認しましょう。



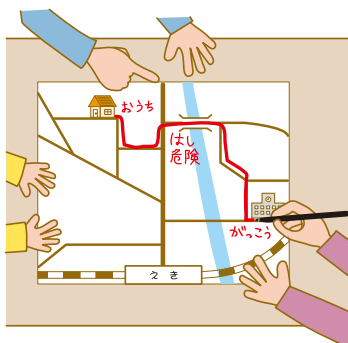
はん濫した場合の、浸水の状況を確認しましょう。  
ご自宅のある場所が何色に塗られているか浸水想定区域図で確認しましょう。

## ステップ 2 次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。



自宅に一番近い避難所を地図で確認しましょう。

## ステップ 3 浸水箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。



浸水が深い場所を避けて避難経路を設定しましょう。

## ステップ 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。



家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。  
避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。